

JAEF REPORT

平成25年1月5日

年4回発行(1,4,7,10月)

(公財)日本自動車教育振興財団 活動報告

【目次】

- ◆ 新年のご挨拶
- ◆ 15府県で教材贈呈式を開催
- ◆ 16都県(29件)の研修会に講師を派遣

- ◆ 第88回JAEF研修会を開催
- ◆ 米国交通事情調査を実施
- ◆ 自動車技術教育イベントを支援

新年のご挨拶

新年おめでとうございます。

旧年中は当財団に対し格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。お陰様で、自動車教育をさらに前進させることが出来ました。

まず、公益法人制度改革に対応すべく、平成24年4月1日付で公益財団法人へと移行することができました。新体制で財団が取り組む自動車教育の内容は基本的には従来通りですが、定款に記載された「社会と自動車のより良い関係を形成するため、高等学校における自動車及び交通に関する教育の支援事業を行う」という財団の目的に沿って、新たにスタートを切ることができました。公益法人制度改革対応はこれからも続きますが、一つの大きな節目を越えることができましたのは、皆様のご支援・ご指導の賜物でございます。

また、事業の展開につきましても、ほぼ計画通りに進めることができました。技術教育支援事業では、提供機材のメニューを23種類から27種類に充実させ、提供対象15府県303校へ展開したところ、例年を大きく上回る93校からの応募がございました(例年では70校前後)。これは、高校の教育現場には自動車教育に対する支援要望がまだまだ沢山あることの証左ではないかと思われまます。

研修事業では交通・環境・交通安全・自動車技術をテーマとして、先生方を対象としたJAEF研修会(財団主催の研修会)を4回開催し、多くの先生方にご参加いただくと共に、関係諸団体のご協力により過去最大の派遣件数・受講人員となる講師派遣を実施しました(平成24年度では174校の高等学校への講師派遣により、受講者は約7万6千名の見込み)。

調査研究事業では、国内外の交通調査を広く実施し調査内容をまとめると共に、それを基にした広報誌への記事掲載や交通・環境・交通安全に関する副教材の提供に取り組みました。そして普及啓発事業では、全国5,900校の高等学校に広報誌の全校配布を重ねると共に、マスコミへのタイムリーな情報発信により、自動車教育の輪をさらに広げることができました。

財団運営

一方、財団を取り巻いた環境を振り返りますと、竹島や尖閣諸島をめぐる韓国や中国との外交軋轢が国民の耳目を集めると共に、年末の衆議院総選挙で民主党から自民党に政権が交代するなど、国民の生活に大きな影響を与える政治的な出来事が数多くございました。

経済面でも、リーマンショックに端を発する世界同時不況に南欧諸国発のユーロ問題が加わり、世界経済が混迷の度合いを深める中、東日本大震災後の国内政治・経済の混乱が追い打ちをかけることで、国内ではデフレ不況が深刻化してきました。それと並行した長期の円高により、自動車業界を取り巻く環境には大変厳しいものがございました。

しかし、そのような不透明で厳しい環境下であったにもかかわらず、財団が粛々と事業を展開できましたのも、関係諸団体・企業の皆様の継続的なご支援・ご協力の賜物に他なりません。財団は、今年も自動車教育を通して次世代を担う高校生の育成に取り組む所存でございますので、諸環境厳しき折ではございますが、引き続き皆様のご指導・ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

【財団事業展開状況】

事業	主な取り組み	H23年度実績	H24年度見込み
技術教育支援	エンジンなどの各種機材提供	15都県 76校	15府県 92校
	教育懇談会	11都県 196名	15府県 272名
研修	JAEF研修会	4回 209名	4回 140名
	講師派遣	124校 約5万2千名	174校 約7万6千名
調査研究	国内外交通調査に基づく副教材作成・提供	900名・校	900名・校
普及啓発	広報誌の作成・提供	23,000名・校	23,000名・校

INFORMATION

1~3月予定

- 各部会、委員会を開催 2月
- 第3回理事会を開催 3月16日
- 5府県(5件)の研修会に講師を派遣 1月~3月

15府県で教材贈呈式を開催

・・・11月1日～12月12日

機材事業

財団は、平成24年度の技術教育支援事業の一環として、自動車技術教育用教材を15府県92校に提供したが、その一環として11月に11府県、12月に4府県、計15府県において各府県自動車教育推進協議会*1（以下、推進協議会）と共催で「自動車技術教育用教材贈呈式」（以下、贈呈式）を実施した。

これら15府県で行われた贈呈式には、関係者が合計で272名（学校関係者161名、および推進協議会関係者111名）出席し、大変盛り上がりのあるものとなった。加えて、これらの贈呈式は多くの地域で地元TV局や新聞社などのマスコミ取材を受け、その報道により、各地域における推進協議会活動の理解促進が図られた。

本年は、これまでで最も提供校数が多く、全ての提供府県において合同開催方式*2で贈呈式を執り行った。また、今年は15府県全てにおいて、贈呈式に続いて教育懇談会を開催した。教育懇談会は、贈呈式に参加いただいた学校関係者と、財団および推進協議会のメンバーによる、地域に密着した自動車教育を推進していくための情報交換の場として開催している。

学校関係者からは、自動車やものづくりに生徒の関心が薄れている中、「生徒は、特にエンジンの分解組立に興味を持っており、提供頂いた実物に触れるのが、一番生徒の興味を引き、熱心な取り組みをしている」、

「最近では機械工学の知識だけではなく、電気関係の知識も必要になってきている」とのご意見と共に、「今後も引き続き、教材提供を継続して頂きたい」と財団活動継続に対する強い要望をいただいた。

- *1：各都道府県の自動車販売店協会、自動車整備振興会、軽自動車協会、日本自動車連盟支部、日本損害保険協会支部の5団体（一部の県では中古車販売店協会が参加）を中心に構成。
- *2：教育委員会、代表校長、提供校校長、担当教諭などの当該県の学校関係者と、推進協議会メンバーがホテルなどで一堂に会して目録贈呈が行われる方式



▲福島県贈呈式（11/7）



▲京都府贈呈式（12/6）



▲愛知県贈呈式（12/11）

【開催実績表】

	県名	提供校数	参加人数	開催日	開催場所
1	奈良県	5	12	11月1日(木)	御所実業高等学校
2	岩手県	7	21	11月6日(火)	ホテルメトロポリタン盛岡
3	福島県	7	21	11月7日(水)	㈱福自販会館
4	宮城県	8	23	11月8日(木)	ホテルメトロポリタン仙台
5	青森県	7	21	11月9日(金)	青森県自動車会議所
6	和歌山県	3	11	11月12日(月)	ホテルアバローム紀の国
7	静岡県	5	20	11月16日(金)	ホテルセンチュリー静岡
8	三重県	5	15	11月21日(水)	ホテルグリーンパーク津
9	大阪府	12	30	11月22日(木)	新阪急ホテル
10	岐阜県	7	16	11月22日(木)	ホテルリソル岐阜
11	滋賀県	3	13	11月30日(金)	琵琶湖ホテル
12	茨城県	6	20	12月4日(火)	茨自販福祉センター
13	京都府	4	16	12月6日(木)	リーガロイヤルホテル京都
14	愛知県	5	15	12月11日(火)	キャッスルプラザ
15	兵庫県	8	18	12月12日(水)	ANAクラウンプラザホテル神戸
	合計	92	272		

16都県(29件)の研修会に講師を派遣

・・・10月～12月

研修事業

財団は、各高等学校からの要請を受け、別表の16都県(29件)の研修会に関係団体・企業から専門の講師を派遣した。受講者は先生・生徒合計で8,569名に上った。

内容は、一般研修会の「環境」に関する講師派遣の要請が1件、「交通安全」に関する講師派遣の要請が20件(「危険予知」11件、「クルマ・自転車・人がつくる道路交通と安全」6件、「自転車と交通安全」1件、「交通事故とその責任」2件)、技術研修会の「自動車の最新技術」に関する講師派遣の要請が8件(「トヨタ・ハイブリッド車」4件、「ホンダ・ハイブリッド車」1件、「日産・電気自動車」2件、「SKYACTIV-G」1件)であった。「環境」に関する講師は、(一社)

次世代自動車振興センター、「交通安全」に関する講師は、(一社)日本自動車連盟支部および(一社)日本損害保険協会支部にご協力いただいた。

また、「自動車の最新技術」に関する講師は、ネットヨタ中国(株)、福岡トヨタ自動車(株)、東京トヨタ自動車(株)、宮城ホンダ販売(株)、近畿日産(株)、山口日産自動車(株)、マツダ(株)にご協力いただいた。そして、いずれの研修会の参加者からも大変高い評価をいただくことができた。

ご協力をいただいた関係団体・企業ならびに各県の推進協議会の皆様には、紙面をお借りして改めて厚く御礼申し上げます。



▲千葉県立東金高等学校での講師派遣の様子



▲神奈川県高等学校教科研究会での講師派遣の様子

第88回JAEF研修会を開催

・・・12月26日

研修事業

財団は、「交通安全」をテーマとした第88回JAEF研修会を実施した。今年度の第4回目となる同研修会には、全国の高等学校から38名の先生方が参加した。

午前は、「日産の安全の取組み」と題し、「技術開発の考え方」「安全技術の取組み」「環境技術の取組み」「ダイナミックパフォーマンスの取組み」について、日産自動車(株)企画・先行技術開発本部の中村 健氏に講演いただいた。講演は、「死亡・重傷者数の半減」を目指して開発中の「全方位運転支援システム」「緊急操舵回避支援システム」等について、映像を交えたわかりやす

い内容であった。参加した先生方からは、「安全に向けた新技術の内容を聞いて大変よかった」と好評であった。

また、午後からは「基本的なドライビングポジション」の説明後、グランドライブ内のテストコースで「緊急操舵回避支援システム」「アンチロックブレーキシステム」等を体験した。参加者からは「日常では経験できない運転操作ができてよかった」「技術の進歩に驚いた」等の感想が寄せられた。なお、JAEF研修会の参加者は、本年度4回の研修会参加者(140名)を加えると平成3年スタート以来、3,247名となった。



▲第88回JAEF研修会(講演)の様子



▲第88回JAEF研修会(体験・試乗)の様子

米国交通事情調査を実施

…… 10月6日～14日

調査研究

財団は、調査研究事業の一環として米国交通事情調査を10月に実施した。今回は、ニューヨークとサンディエゴの2都市を対象に、クルマと公共交通機関・自転車との共存のあり方について調査し、多くの知見を得ることができた。

両都市とも街づくりと一体となった交通政策を実施していることがわかった。具体的には、市街地においては広い通りですら一方通行化することにより交通流の円滑化を図っている。また、郊外にパーク&ライド用の駐車場を整備することで中心部の交通渋滞緩和に取り組んでいる。中でもサンディエゴでは郊外のほとんどの駅に無料の駐車場を整備しているのが特徴である。

クルマ社会である米国において自転車対策のプライオリティは低いイメージがあるが、ニューヨーク市では2007年度から2012年度の6年間で総延長314マイル（約500km）の自転車レーンを整備。また、Bikes in Buildingsという法案を制定し、自転車通勤者がオフィ

スに自転車を持ち込みしやすいようにするなど、環境問題への対応として自転車交通のウェイトを高める動きがある。

サンディエゴで特筆すべきは、Car2Goという電気自動車のカーシェアリングシステムである。2011年秋に全米で初めて導入されたこのシステムは、特定のカーシェアリングポートを持たず、指定エリア内であれば道路脇に自由に乗り捨てできる。利用したいときには、パソコンやスマホで空いている車の所在地を確認し、クルマのフロントウィンドウの読み取り機に会員証をかざすと車のロックがはずれ、使用可能な状態となる。実際に利用してみて、市内の短距離移動には非常に使い勝手がよく、電気自動車を普及させる上で有効な手段と思われた。

今回の調査結果は、各種委員会・部会で報告するとともに、財団広報誌Traffi-Cationを通じて展開していく予定である。



▲ニューヨークの自転車通勤の男性。オフィスのロッカーに保管。



▲サンディエゴのトrolley駅。数百台規模の無料駐車場を設置。



▲EVカーシェアリングの車両。

自動車技術教育イベントを支援

…… 10月～11月

財団運営

財団は、自動車技術教育の推進に関わる高等学校の取り組みを支援しており、その一環として下表の7件の教育イベントに協賛金などを支援した。

「高校生ものづくりコンテスト全国大会」は11月に長野県松本市で各ブロック代表校10校が「自動車整備」の技術を競い、三重県立松阪工業高校が全国優勝を果たした。

また、「エコデンレース」は、11月に大阪府万博記念公園で行われ、総合の部では堺市立堺高等学校、ワイパーモーターの部では沖縄県立那覇高等学校、充電部門では、愛知県立豊田工業高等学校がそれぞれ1位となった。



▲エコデンレースの様子

イベント名	主催	開催日	会場	概要	参加者	支援内容
第14回沖縄県高校生エコデンレース大会	沖縄県工業教育研究会	10/23 (火)	沖縄県	電気自動車で行走距離を競う	県内高校9校 計20台	賞状、協賛金
2012長野県高校生交通安全CMコンテスト	長野県交通事故ゼロチャレンジ実行委員会	10/28 (水)	長野県	交通安全をテーマとしたCMでテレビ部門、ラジオ部門の2部門	県内高校生	協賛金
第20回静岡県高校生エコラン大会	静岡県工業高等学校長会他	10/28 (水)	静岡県	電気自動車、ガソリン車でどれだけ走れるか等	県内高校生	協賛金
第18回スターリングテクノラリー	スターリングテクノラリー技術会、日本工学教育研究会	11/10 (土)	埼玉県	スターリングサイクル機器の性能とアイデアを競う	小中学生・高校生 大学生及び一般	協賛名義
第12回高校生ものづくりコンテスト全国大会	全国高等学校長協会	11/17-18 (土・日)	長野県	自動車整備技術を競う	代表高校10校	後援名義
第17回三重県高校生テクノドリームフェア	三重県教育委員会	11/18 (土)	三重県	ラジコンカー、省エネカーの性能競争	県内工業高校 11校	協賛金/ 協賛名義
'12エコデンレース (第18回大会)	全国自動車研究会	11/23 (金)	大阪府	高校生の作成した電気自動車の性能を競う	全国の高等学校	後援名義 広告掲載